

## 市民の声を生かし、実現へ 今年も全力あげます

議員の仕事は、市民の声を市政に届け、実現すること。そのために、日本共産党宇治市会議員団は、悪い政治とは対決し、対案も示し、さらには一致点で共同して、要求を実現します。市民に役立つ議会に、さらに改革すすめます。



## 日本共産党宇治市会議員団 は提案します

この姿勢を  
つらぬきます

「対決」

安倍政権の危険な暴走に  
正面から対決します

「対案」

政治の行き詰まりを打開  
する対案を常に示します

「共同」

一致する要求にもとづく  
「一点共闘」を発展させます

## 2013年12月議会でも、具体的に対案

### 4年連続黒字、繰入金(法定外分)ゼロ…… 高すぎる国民健康保険料は引下げるべきです。

国民健康保険の短期証発行世帯は1282世帯、資格書交付世帯が260世帯で、国保加入の20世帯に1世帯が正規の保険証が使えない状態になっています。

これは保険料が高くて払えないからです。

国民保険会計は4年連続黒字で、昨年度末の実質黒字額は約9億円にまで膨らんでいます。この累積黒字とは別にため込んだ基金は4年間で4億7千万円増えて、2012年度末残高は6億4千から万円にな

っています。

その一方で、2013年度の一般会計からの法定外繰入金は0円です。

共産党宇治市会議員団は、国民健康保険料を引下げるべきと、要求しました。

これに対し宇治市は「(運営協議会の) 答申をいただいた上で判断していく」と答弁するにとどまりました。

国保料引き下げへ。全力あげます。

### 市集会所と管理者制度の廃止を断念し。 存続、耐震改修・施設改修をすべきです。

市は2012年3月、132ヶ所の市集会所を2013年3月末で廃止し、集会所管理者制度を廃止するために「市集会所の廃止条例」を提案。民主・公明・自民などが賛成し可決しました。

しかし、町内会などの理解を得られず、2013年3月議会で期限を定めず延期しました。

宇治市はそれから9ヶ月かけて説明会等を開き、町内会・自治会を説得しようとしたましたが、理解が得られませんでした。市集会所を対象に行った調査(回答率80%)で来年4月にプ

ランへの移行が「可能」と答えたのは20ヶ所(全体の15%)しかありませんでした。結局、今年4月からの実施は断念することになりました。

市集会所の廃止は市民の理解を得ることができず実現不可能であることから、私たちは「市集会所廃止条例を廃止する条例」を議員提案しました。これに共産、社会、宇治維新の11人が賛成、民主・公明・自民など16人が理由も示さず反対し可決されませんでした。